

JPPMA

Japan Pet Products Manufacturers Association

Briefs

目次

JPPMA トピックス…1 頁～4 頁

2012ジャパンペットフェア開催へ、最終準備段階に入る。

イベント内容もほぼ固まる…1頁～2頁

ペット用品取扱士検定試験、2012JPF会場で実施…3頁

「ペットとの共生推進協議会」入会募集…3頁

ペット用品統一表示Ver.Ⅱ 統一表示説明会開催。策定内容を解説…4頁



第13回

2012

ジャパンペットフェア

会期 3/29(木) 30(金) (ビジネスデー) 3/31(土)・4/1(日) (一般公開デー)
平成24年

会場 幕張メッセ 5・6ホール

JPFは業界とともに
25周年

ペットの普及と正しい飼い方を啓蒙し、
ペットビジネスを支援する
ジャパンペットフェア

JPPMA 日本ペット用品工業会

2012 ジャパンペットフェア開催迫る！

3/29-30 ビジネスデー充実

3/31-4/1 一般イベントパワーアップ

<http://www.jppma.or.jp>



一般社団法人
日本ペット用品工業会会報

第4号 冬号

2012ジャパンペットフェア開催イベント概要固まる…印刷物も完成、最終準備段階へ

1/31には東京国際フォーラムで記者発表

一般社団法人日本ペット用品工業会主催の2012 ジャパンペットフェアは、3月29日(木)から4月1日(日)までの4日間、千葉市・幕張メッセで、盛大に開催する。震災によって延期になった2011年を継承としての開催となる。



一般社団法人化して初めての開催となる今回は、「第1回ジャパンペットアワード」の表彰式や、「第1回JPFカップ」をかけた競技会やコンテストなど新企画を満載して実施される。

2012 ジャパンペ
ットフェアは、犬、猫、
観賞魚、小鳥、小動
物、は虫類、昆虫関連
企業200社（団体含）
以上が出展、約520小
間の展示ブースに最新
の国内外のペット用品
が一堂に会す。ペット
の普及拡大と正しい飼
育の啓蒙啓発を目的と
した企画も充実した、
公益性の高い国内最大
規模のトレード&フェ
スティバルである。

開催テーマは、2011
ジャパンペットフェア
の継承で「見つけよ
う！ペットと暮らす喜

びを | 。約15万人の入場者を見込んでいる。

新企画の一つジャパンペットアワードでは、日頃ペットと共に暮らす喜びを広く一般に伝えている著名人や動物愛護に繋がる活動をしている人を表彰し、広く、その業績と功労を称える。またJPFカップは、ドッグダンス大会やタイムレース・金魚すくい選手権、新製品コンテスト（出展社対象）や店頭ディスプレイコンテスト（ビジネス来場者対象）など、競技会やコンテストを開催する。

以下は主なイベントである。(順不同)

- P A W F E C T ドッグダンス
- トリミングコンテスト
- ドッグタイムレース
- アクアリウムレイアウトコンテスト
- 全国金魚すくい選手権 千葉幕張予選大会
- クワガタムシのレスリング「クワレス」
- 新製品コンテスト
- ベストブースコンテス
- Birthday Pet (バースデ

イペット)プロジェクト

子どもがペットを育てられる責任感を持った時、家族の一員として迎える企画。ペットの世話をして育てることは、命の大切さや思いやりをもつ、優しい心を育むといわれ、同企画を通じてペットとの共生を啓蒙啓発する。。



- さかなクンおもしろトークショー
- カイくんがやってくる！
- ドッグクリッカートレーニング
- 愛犬と一緒に音楽に合わせて踊るドッグダンス
- ディスカバリードッグ
- 愛犬と祝うブライダル
- ドッグタイムレース
- 愛犬のための肉球マッサージ体験
- ペットモデルオーディション
- 人とワンちゃんが創りだすスタイリッシュアート
- チャンピオンキャット大集合
- 全国金魚すくい選手権大会
- 金魚展示水槽『ドラディショナルアクア』
- 誕生魚『パワーフィッシュ』
- 十二支 観賞魚大集合
- 小動物・小鳥・猛禽類の展示&ふれあいコーナー
- 昆虫ジャングルファイト
- 昆虫ふれあいコーナー
- ハ虫類の展示コーナー
- 会場限定スペシャルキャンペーン
- ビジネスチャンス スタンプラリー
- 新製品コンテスト
- ベストブースコンテスト
- アニマルセラピーの研究と実践の紹介
- ペットスペシャリスト特別セミナー
- その他

以下はジャパンペットフェアビジネスデー、一般デーイベントステージにおけるショースケジュール（予定）は次の通りである。

29日(木) ビジネスデー		30日(金) ビジネスデー	
9:00		9:00	
9:30	9:30～9:50 オープニングセレモニー(2Fロビーにて)	9:30	
開場		開場	
10:00		10:00	
	ペットスベレヤリスト特別セミナー「ペット業界の将来」 佐藤 孝	10:30	
	「プロフェッショナルな人が必要な時代」 永田 恵		
11:00		11:00	ペットのストレスを科学する 11:00～11:40(40分)
11:30	「ペットをとりまぐニア事情」 吉田 俊花	11:30	
	「ウサギの魅力」 吉村 真由美	12:00	オールペットセミナー 11:40～13:00(80分)
12:00		12:30	
12:30	「犬への感謝」 松本 秀樹		
13:00	「動物保護国際水準に向けて」 藤村 晃子	13:00	
13:30	「トリマー・子供たちが憧れる夢のある職業に！」 佐藤 栄子	13:30	新しい人生のスタート～愛犬と共に～ 13:30～14:10(40分)
14:00	「動物医療の現状」 佐藤 洋文	14:00	
14:30	「お食事はストレス社会の救世主！～癒しの効果を最大限に～」 吉田 恵史郎	14:30	最新作ペットスタイルショーアワード 14:30～15:10(40分)
15:00	「家庭犬トレーナーの近未来像」 鳴海 治	15:00	
15:30	「アニマルセラピー ペットの力を社会に貢献！」 約場 美芳子	15:30	第1回ジャパンペットアワード表彰式 15:30～16:30(60分)
16:00		16:00	
16:30	質疑応答 総まとめ 藤原 和悦他 16:20～17:00	16:30	フレンドパーティー 16:30～17:30(60分)
17:00		17:00	

31日(土) 一般公開デー イベントステージ		4月1日(日) 一般公開デー イベントステージ	
9:00		9:00	
9:30		9:30	
開場		開場	
10:00		10:00	
10:30	ドッグファッションコレクション	10:30	
11:00		11:00	さかなクントークショー
11:30	さかなクントークショー 11:10～11:45(35分)	11:30	愛犬と祝うプライド～みんなで祝って！～ 11:45～12:25(40分)
12:00		12:00	
12:30	ペットの口臭・体臭が気になりますか？ 12:30～13:10(40分)	12:30	JPFカップドッグダンス決勝大会 12:30～13:15(45分)
13:00		13:00	
13:30	ドッグダンスエキシビジョン 13:20～14:05(45分)	13:30	日本畜産犬協会運動紹介・感謝状授与 13:30～14:00(30分)
14:00		14:00	
14:30	ドッグファッションコレクション&ペットモデルオーディション 14:15～15:25(70分)	14:30	
15:00		15:00	JPFカップ アートwithドッグトリリングコンテスト表彰式 15:00～15:30(30分)
15:30	JPFカップベストブースコンテスト・観覧品コンテスト表彰式	15:30	JPFカップ表彰式 16:40～16:00(20分)
16:00		16:00	さかなクントークショー
16:30	さかなクントークショー	16:30	2011ジャパンペットフェア閉会式 16:50～17:00(10分)
17:00		17:00	

ペット用品取扱士検定試験 受験者募集 ジャパンペットフェア会場で実施

第3回ペット用品取扱士資格試験がジャパンペットフェア会場（千葉幕張メッセ展示場）において3月30日午後1時～午後4時実施される。実施当日はジャパンペットフェア商談日会期中となり、業者だけしか入場できないが、同資格試験実施により、受験者に限り一般の方でも入場できる。

■受講受験資格

年齢、性別、国籍を問わない。受験希望は指定の受講受験申込書(無料)が必要。→申込は事務局まで。

■対象

- ①一般社団法人日本ペット用品工業会会員
- ②同会員会社従業員・家族
- ③非会員
 - ・メーカー：マーケティング、商品管理、企画開発、営業担当者他
 - ・流通：仕入、商品管理、企画、営業担当者他
 - ・小売店：マネージャー、バイヤー、売場担当者他
 - ・学生：大学生、ペット関連専門学校他
 - ・その他一般

■受講受験料(受講料、教材費、認定料を含む)

- ・会員、社員及び家族 1名 18,000円
- ・学生(大学、専門学校) 1名 20,000円
- ・非会員、一般 1名 23,000円
- ・団体料金
1企業(学校) 5名以上受験の場合10%の割引

■申込み

受講受験書に必要事項を記入し、郵送またはFAXにて送付。受験料入金確認後、①受験票、②教本が送られる。

■問題集(500円)

過去の出題を含めてまとめている。教本補助教材として受験勉強に便利。A4サイズ16頁。

●願書締切日 平成24年3月10日(必着)



ペットとの共生推進協議会 会員募集 ジャパンペットフェア会場でも告知、入会受付

ペットとの共生推進協議会協力部会が担当している「ペットとの共生推進協議会」は、ペット界関係者に参加を広く範囲に呼びかけを開始した。

「ペットとの共生推進協議会」ではより多く入会してもらい、同協議会の二大テーマである「ペット飼育の普及促進」と、「正しい飼い方の啓蒙・啓発」活動を効果的に推進していく。今年の事業として秋に「ペットとの共生」をテーマに関連団体に広く呼び掛けシンポジウムの開催を決定。準備を開始した。この他にも順次活動していくという。

「当会と致しましてもペット業界挙げての取組みと考え、会員全社のご入会を目指していきます。是非ともご入会頂き、ペット界一丸となってペットとの共生推進活動に参画頂くようお願い申し上げます。」(柳原会長)

同協議会協力部会では3月29日～4月1日、ジャパンペットフェア会場（千葉幕張メッセ展示場）において、入会受付カウンターを設置して、会員募集活動を行う予定。



団体、会社、個人…どなたでも参加できます。

※入会費は500円です。年会費は1,000円です。入会後、毎月100円程度の会費がかかります。入会後、毎月100円程度の会費がかかります。

ペットとの共生推進協議会

新規策定「ペット用品統一表示ガイドライン Ver.2」説明会を 1/26、27 東京、大阪で開催

業界の自主基準ともいえるべき「ペット用品統一表示ガイドライン」の策定は、ペット用品工業会が 2007 年から進めてきた事業の一つで、2009 年には第一期として「Ver.1 表示項目編」として策定していた。今回の Ver.2 は第二期目として、表示規定を加えて「Ver.2 統一表示編」を策定したものの。

同説明会では、柳原会長の挨拶、石川表示委員長による経過説明に続いて、「Ver.2 統一表示編」の概要、運用について委員長及び委員より業種別に説明が行われた。以下は説明会の主な内容である。

1. 「Ver.1 表示項目編」と「Ver.2 統一表示編」の違いについて。[ガイドライン 6 頁参照](#)。

・表示一覧表

取り決めた表示基準のうち「表示項目」は「Ver.1 表示項目編」で第一期に策定されたものを一部修正・追加した。大分類、中分類、小分類に分類して、表示しなくてはならない項目を必須、任意（表示が望ましい）、無指定（各社対応）で指定した。

・表示規定

「Ver.2 統一表示編」で第二期作業として新たに策定した。表示項目だけに留まらず、その表示内容にまで踏み込んで基準づくりを行ったもの。

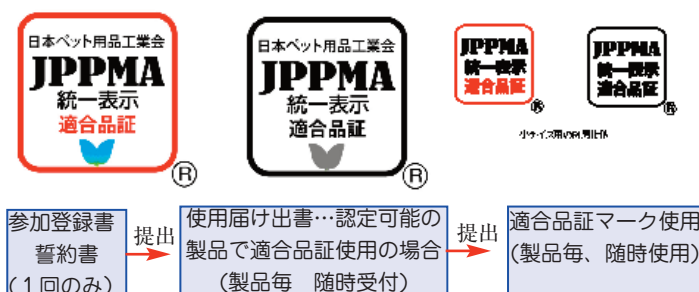
2. 強度基準と性能基準について

「Ver.2 統一表示編」の中で、一部の製品について、強度基準と性能基準を設けた。

強度基準の対象となったのは首輪、引き紐、胴輪、リールリード類。性能基準の対象は観賞魚用ヒーター。いずれも一般社会からの「安心・安全」の要請に応えたものである。第三期策定作業では、第二期作業の確認に加えて、製品によって、このような品質基準を検討していく予定である。

3. 運用について

「ペット用品統一表示ガイドライン Ver.2」の運用は、まず、参加社は、「参加登録書」、「誓約書」を事務局に提出する。次に同ガイドラインに適合した製品を随時、「使



用届け出書」に明記して事務局に提出する。「使用届け出書」を提出すれば適合品証マークの使用（印刷またはシール貼り）が可能となる。

以上登録から届け出、適合品証マーク使用まで、自社の責任管理で行われる。なお、ガイドライン Ver.2 策定に伴い、新しいマークを使用する。

4. 届け出時の製品（商品）の分類について

表示一覧表作成時に、分類漏れがあったり、分類間違いのある場合も想定されるので、実際に届出書作成中に不明な点があれば表示委員会宛に質問を呼び掛けている。

5. 説明会での質疑概要

説明会では以下のような質問があった。表示委員会で既に対応した事項、現在検討中の事項を一部紹介する。

①猫砂の表記の場合、大分類が猫用とあるが猫用猫砂としなくては行けないか→猫用の表記は不要。

②「Ver.1 表示項目編」時に一度登録書を提出しているが再提出は必要か→不要。

③「Ver.1 表示項目編」の適合品証マークの使用は今後できなくなるのか→2009 年に策定したペット用品統一表示ガイドライン・表示項目編用に作成した「表示項目適合品証マーク」は、「統一表示適合品証マーク」の実施に伴い新規登録は 2011 年 12 月 31 日までとし、使用可能期間は 2016 年 8 月 31 日まで。[ガイドライン 70 頁参照](#)。

④観賞魚用飼育セットについて、複数の製品の組み合わせなので、もう少し柔軟にできないか→検討。

⑤弊社の商品は開封後の消費期限となっているが、その場合、消費期限の扱いはどうすればよいか→検討。

⑥表示規定の説明が無いカテゴリーがあるが？→表示規定は、原産国（項目番号 1）、表示者名（項目番号 5）、品名品目（項目番号 7）の 3 項目以外にも表示規定を設けた製品についてまとめたものである。[ガイドライン 6 頁参照](#)。説明を省略したカテゴリーの表示規定は[ガイドライン 5 頁の「原産国（項目番号 1）、表示者名（項目番号 5）、品名品目（項目番号 7）」を参照](#)。

⑦適合品証マークはいつ支給されるのか→参加登録書及び誓約書（[ガイドライン 71～72 頁](#)）の提出後、データをメールにて支給する。

⑧表示違反の対応について→使用に関する管理は、原則として登録企業の「管理責任者」の責任で行なう。「管理責任者」とは、登録企業が任命した社員で、統一表示適合品証マークの使用・管理業務全ての責任を負う。自主的に管理運営する委託方式を採用する。必須項目の表示が無いことが判明した場合、違反者（登録企業）に状況説明（文書）と改善を要請するとともに、統一表示適合品証マークの使用を禁止する。[ガイドライン 70 頁参照](#)。将来的には試売検査を行い、違反をチェックしていく。